

付録

A.1 統計情報に基づく形態素解析の曖昧さ解消方式

A.1.1 「で」に関する調査結果

ここでは、朝日新聞1ヵ月分(昭和62年1月)を対象としてKWICにより、「で」を分類した結果について示す。

- 「で」が述語的に働く場合

(1) 「である」の変形

- 口実でしかない
- 初めに1%枠突破ありきでは決してない
- 現代が多様化社会であればあるほど

(2) 累加、並列の「で」:「で」によって、その前の文が完結する場合

- 並列の関係を作る
 - * 後ろにくる文章を説明する
 - * 同じ性質の言葉を結び付ける
 - * 後ろの文が前の文の説明になっている
 - ・ いま日本の通貨供給の伸びは大体8%台、実質GNPは2%台で、そのギャップは6%です。

- ・ 一番不安な点は「年金など社会保障」で
 - ・ うち日本円は 24.5 兆円で ほぼ一割。
 - ・ IBM のライバル で 世界最大の通信サービス会社 ATT
 - ・ 何をどれだけ持てば必要 で 十分なのか、という議論をはじめたら
 - ・ これは全くの素人の手すさび で、まことに稚拙、素朴 で 他人の鑑賞に値するもの で はないが
 - ・ ただし、市町村民税が非課税 で、かつ老齢年金を受給している低所得者
 - ・ 今年は静穏 で 国民が幸せ で あるような年 で あってほしい。
- － ～的+で
- * われわれの胃袋はその点まことに開放的 で、外国の生まれや育ちを気にしない
 - * 多様性どころか画一的 で、硬く、同じ態度をとりつづけている
 - * 精神障害者の診療体制なんて、ほんとうに前近代的 で、私は医者として情けないですよ。
- － 「動詞」+「もの/わけ/ほど/ため/だけ」+で
- * 質問に答える形でコメントしたもの で、同問題について「関心をもっている」と…
 - * 「定性」をキャッチフレーズにしたもの で、論壇でも「地方の時代」「地方分権」が…
 - * 企業主導型の流行があるわけ で、10 万円金貨のとき国民の多くが…

- * 北九州爆撃のすさまじさは身ぶるいするほどで、迎撃するわが軍の…
- * 社会の生産力を発展させるためで、社会主義を離脱するためではない。
- * 企業の倫理の枠の中でバリエーションを楽しんでいるだけで、かえって…

－ 形容詞的意味をもつ「で」

- * どこまで利用価値があるか疑問で、新機種を導入する必要はない。
- * 総裁のリーダーシップが必要で、それを我々が助けていく。
- * 方向づけたりするのは不可能で、限られた企業がつくってしまう。
- * 天皇ご一家は、お元氣で62年の新年を迎えられた。
- * いざ選択しようとする、大変な努力が必要で疲れてしまう。
- * 答えは単純で「面白いから」。

－ その他

- * わが国の文化、社会の発展、向上に貢献した人に贈る賞で、昭和4年に創設しました。
- * ムカシウサギ亜科の一種で、今はこの大島と隣の徳之島にしかない。
- * 死亡数は74万8000人で、前年より4000人の減少。
- * 毎月35万円のローンを返済中で、1ヵ月の休漁は痛かった。
- * 2日まで満員で、3日も80％。

- * 8月にクランクインの予定で、来年の正月映画の目玉を目指す。
- * 入院の場合は約3割増で、しかも今までは支払い期限があったのに、…
- * 新春の食卓は、日本の豊かさの象徴といった形で、年々にぎやかになっている。
- * 第2の夢は四国地方に飛ぶことで、知友と面会しかつ小さい講演をさせていただく予定で、既に素案がたてられている。
- * そこは冬の真っ最中で、不断おしゃべりなフランス人も…
- * 平均年齢は34歳で、私一人が抜ければ2、3歳は下がる。
- * さらに新港につながる鉄道や道路網も整備する計画で、総工費は…
- * 英名は「火山帯ウサギ」で、メキシコ市郊外の火山の丘陵地だけに生息…
- * 終値は160円10銭でかろうじて160円台に踏みとどまった。
- * 最初は地方自治法の制定から、市町村合併前後までで、経済的に貧しく…
- － 曖昧なもの
 - * 第3は金融自由化で、金融商品が次々と開発されたことがある…
 - * 大噴火で避難した時のままで、ごちゃごちゃ。
 - * 逆に首相が思わぬ形で退陣に追い込まれたり、三者の調整がつかなかったりで、二階堂氏や金丸副総理の暫定政権に…
 - * 国際戦略上、アムダールのほかに、米国企業でもう一社核となるパートナーが必要だった…

* もう少しコミュニケーションをしようということで、全国知事会議を年2日にし…

● 「で」が助詞として働く場合

(1) 動作が行われる時、場所

－ 計4分野での提携内容の詰めを急いでいる。

(2) 手段、方法

－ 基本ソフト「ユニックス」で疎くミニコンピュータ

－ 提携でソフト戦略を強化できるなどの…

(3) 理由、原因

－ ソフトウェア紛でIBM離れを迫られており…

－ 不退転の決意で臨む。

－ 行革の精神でのぞむ。

－ 30年で半減した。

(4) 事情、状態

－ …は、双方にとって有望だから最優先でやることで合意した。

(5) 話題、論題の提示

(6) 後ろに動詞が省略されている

－ うち4バースは世界銀行からの融資で賄い、6バースは円借款で、というのが中国の考え。

A.1.2 格助詞相当連語に関する調査結果

(1) 「において」

表 A.1: 「において」の調査結果

分類	出現数	用例
動詞	2	「～の名 <u>における</u> 」等、熟語的なものも含む
連語	75	

(2) 「における」

表 A.2: 「における」の調査結果

分類	出現数	用例
動詞	0	
連語	133	

(3) 「にかけ」

表 A.3: 「にかけ」の調査結果

分類	出現数	用例
動詞	2	「気 <u>にかけ</u> 」、「軍法会議 <u>にかけ</u> 」 「A から B <u>にかけ</u> 」の形。ここで、A,B は場所、時、数量を表す 名詞
連語	26	

(4) 「にかけて」

表 A.4: 「にかけて」の調査結果

分類	出現数	用例
動詞	15	「 <u>にかけ</u> 」と同様。「から」の代わりに「ー」も用いられる
連語	136	

(5) 「にしては」

表 A.5: 「にしては」の調査結果

分類	出現数	用例
動詞	13	あとに、否定か疑問を伴う。「統一教会の存在を抜き <u>にしては</u> 理解しにくい。
連語	7	それ <u>にしては</u> 、2000 の市 <u>にしては</u> 、税制改革 <u>にしては</u> 、中曽根氏 <u>にしては</u> 、生まれた <u>にしては</u> 、冬 <u>にしては</u> 、等、すべて肯定文で受ける

(6) 「にしない」

表 A.6: 「にしない」の調査結果

分類	出現数	用例
動詞	29	動詞+「ない」
連語	3	「しなければならない」の意。発言は慎重 <u>にしない</u> と。
熟語	2	微動だ <u>にしない</u>

(7) 「にしろ」

表 A.7: 「にしろ」の調査結果

分類	出現数	用例
動詞	5	「する」の命令形
連語	8	A <u>にしろ</u> (、) B <u>にしろ</u>
熟語	12	な <u>にしろ</u> 、いずれ <u>にしろ</u>

(8) 「にせよ」

表 A.8: 「にせよ」の調査結果

分類	出現数	用例
動詞	5	直後が文末、あるいは「と」
連語	42	A <u>にせよ</u> (、) B <u>にせよ</u>
熟語	12	いずれ <u>にせよ</u>

(9) 「につき」

表 A.9: 「につき」の調査結果

分類	出現数	用例
動詞	15	「 <u>につき</u> 始め」、「 <u>につき</u> 合う」といった語の一部、あるいは、「 <u>帰途</u> <u>につく</u> (1 回)」「 <u>人 (目)</u> <u>につく</u> (5 回)」
連語	15	A <u>につき</u> B の形 (A は数量、特に B は金額が多い)

(10) 「にして」

表 A.10: 「にして」の調査結果

分類	出現数	用例
動詞	420	「 <u>～にして</u> アル類」「 <u>～にして</u> てる」「 <u>～にして</u> いる」等、複合動詞の一部または、直後に動詞が続く場合と、「 <u>～にして</u> + 名詞」、「 <u>～にして</u> より」
連語	56	A <u>にして</u> B の形 (B には数量)
熟語	40	「不幸 <u>にして</u> 」「一夜 <u>にして</u> 」「今 <u>にして</u> 」 etc.

(11) 「にしても」

表 A.11: 「にしても」の調査結果

分類	出現数	用例
動詞	10	「 <u>～にしても</u> らう」
連語	92	
熟語	43	「それ <u>につけ</u> (35 回)」、「 <u>いずれにつけ</u> (35 回)」

(12) 「につけ」

表 A.12: 「につけ」の調査結果

分類	出現数	用例
動詞	47	複合語「 <u>つけ加える</u> 」の一部や、「 <u>身につけ</u> 」
連語	18	「何か <u>につけて</u> も」、「それ <u>につけて</u> も」 etc.

(13) 「について」

表 A.13: 「について」の調査結果

分類	出現数	用例
動詞	15	直後に動詞が続く場合が多く、「～ <u>について</u> 行く」や「～ <u>について</u> いる」etc.
連語	1802	A <u>について</u> B。Aには数的なもので、複数でない、または、「一つ一つ」「個々」などがついたもの。Bには数量。

(14) 「については」

表 A.14: 「については」の調査結果

分類	出現数
動詞	0
連語	463

(15) 「についても」

表 A.15: 「についても」の調査結果

分類	出現数
動詞	0
連語	153

(16) 「にいる」

表 A.16: 「にいる」の調査結果

分類	出現数
動詞	94
連語	0

(17) 「に立ち」

表 A.17: 「に立ち」の調査結果

分類	出現数
動詞	82
連語	0

A.1.3 「と」に関する調査結果

ここでは、朝日新聞1ヵ月分(昭和62年1月)を対象としてKWICにより、「と」を分類した結果について示す。

表 A.18: 「と」の用例

分類番号	用例
1A	「まとめてもらいたい」など <u>と</u> 述べた。 再続投する考えはあるか <u>と</u> の質問に答え、 五人に一人が高齢者 <u>と</u> いう六町なのだ。 奄美大島 <u>と</u> いう南島
1B	「国 <u>と</u> 地方」 小さな神殿 <u>と</u> 拝殿、狭い境内 専門家 <u>と</u> 素人の差
1C	内閣記者会 <u>と</u> 会見し、 稲 <u>と</u> は別に ATT <u>と</u> の提携
1D	ソフトを中心 <u>と</u> したコンピューターの共同開発 湖北線が廃止対象 <u>と</u> なる。
1D'	山 <u>と</u> 積み込む。
1E	国家 <u>と</u> しての信頼性 ワイン町長 <u>と</u> して有名な丸谷金保氏 意図をはっきりさせたもの <u>と</u> して画期的だ。
2	夜になる <u>と</u> 出てくる。 同通信による <u>と</u> 、この原稿は～。 必要最小限は用意しない <u>と</u> いけない。
3A	生き生き <u>と</u> はっきり <u>と</u>
3B	何十回 <u>と</u> なく <u>と</u> いうのは

A.1.4 「と」を受ける動詞および形容詞の引用性と随伴性調査結果

表 A.19から表 A.24に、朝日新聞 1ヵ月分 (昭和 62 年 1 月) を対象として「と」を受けるそれぞれの語が、引用の「と」を受けた回数と随伴の「と」を受けた回数を調査した結果について示す。

表 A.19: 引用性＞随伴性の動詞

引用回数	随伴回数	動詞
4336	0	いう
602	14	する
597	0	思う
488	1	見る
139	0	言える
136	0	考える
59	0	述べる、発表する
39	16	ある
29	1	聞く
28	0	伝える
27	0	呼ぶ
25	0	判断する
24	6	なる
20	0	みなす
19	0	強調する
17	0	願う
15	0	指摘する、説明する
14	0	受け止める、思える、限る、期待する、信じる、見込む、予想する
13	0	感じる、知る、報じる、分かる
12	0	決める
11	0	認める
11	9	とる
10	0	受け取る、批判する、評価する、寄り付く
9	0	上回る、主張する、予測する
9	1	続く
8	0	答える、推移する
8	1	出る
7	0	いく、書く、確信する、称する、申す、想定する
7	1	進む、付ける
6	0	訴える、かける、決まる、言明する、超える、下がる、断定する
5	0	落ち込む、気付く、記録する、警告する、指摘する、推測する、認定する、表明する、増える、分析する、目する
5	3	語る
4	0	上げる、動く、売る、確認する、繰り返す、くる、決心する、更新する、叫ぶ、自負する、想像する、通告する、努力する、ねらう、非難する、報道する
4	1	付く

表 A.20: 引用性>随伴性の動詞 (続き)

3	0	上がる、言い残す、応じる、数える、警戒する、定める、占める、進める、宣言する、痛感する、努める、提案する、出来る、突出する、とらえる、乗り出す、乗る、判定する、明記する、持ちかける、呼びかける
3	1	行く、迫る、求める
2	0	歩き出す、言い聞かせる、言い切る、言い出す、言い続ける、意気込む、偽る、移動する、入れる、動き出す、うたう、移す、落ちる、思い込む、思い付く、解釈する、仮定する、観測する、記憶する、決め付ける、逆転する、糾弾する、計算する、消す、決意する、公言する、誤解する、心得る、こなす、差し出す、錯覚する、自覚する、下回る、実感する、示す、証言する、称賛する、記す、診断する、信じ込む、心配する、推計する、宣伝する、速報する、頼む、旅立つ、創り続ける、強める、低減する、転じる、説く、唱える、富む、流れる、泣きわめく、嘆く、納得する、名乗る、乗せる、望む、伸ばす、伸びる、乗り継ぐ、図る、はじく、発言する、発展する、反落する、引ける、評す、踏む、減る、減らす、見える、明示する、申し上げる、もてはやす、予言する、割る、割り切る、割り込む
2	1	訪れる、変える

表 A.21: 引用性=随伴性の動詞

引用回数	随伴回数	動詞
3	3	進める
2	2	やる
1	1	覚悟する、区別する、探る、つなぐ、つながる、設ける、もみ合う、約束する、読む

表 A.22: 随伴性>引用性の動詞

随伴回数	引用回数	動詞
74	0	違う
45	1	会談する
29	0	比べる
26	5	変わる
25	0	結ぶ
22	1	並ぶ
20	0	会う、会見する
19	0	異なる
18	0	合わせる
17	0	対決する
15	0	組む
14	0	似る、話し合う
13	0	協議する
13	7	話す
10	0	結婚する
10	2	続ける
9	0	絡む、相談する、離れる、結び付く
8	0	あいまつ、協力する、知り合う
8	3	待つ
7	0	戦う
6	0	絡める、交換する、取り合う、比較する
6	1	取り組む
5	0	争う、協調する、対立する、並行する、運動する
5	3	開く
4	0	遊ぶ、かけ離れる、切り離す、暮らす、懇談する、衝突する、接する、そろえる、付き合う、提携する、面会する
4	3	つくる
3	0	合う、意見交換する、議論する、決別する、交渉する、交代する、接触する、出会う、ぶつかる、向かい合う、連携する、別れる
3	1	始める、結び付ける
3	2	重ねる、入る
2	0	相反する、一致する、いる、置く、起こす、かかわる、画す、語り合う、合致する、関係ある、共存する、共通する、検討する、死別する、接続する、タイアップする、対話する、楽しむ、調整する、調和する、直結する、同居する、取引する、並べる、深める、間違う、間違える、両立する、隣接する
2	1	行う、過ごす

表 A.23: 引用性＞随伴性の形容詞

引用回数	随伴回数	動詞
15	0	高い
8	0	多い
7	0	関係ない
4	0	低い
3	0	言い難い
2	0	大きい
1	0	厚い、いいにくい、うれしい、怖い、長い、安い

表 A.24: 随伴性>引用性の形容詞

随伴回数	引用回数	動詞
6	2	ない
5	0	近い
3	1	深い
2	0	親しい、程遠い
2	1	悪い
1	0	いい、縁遠い、等しい

A.1.5 「と」に伴う各種調査結果

表 A.19から表 A.24に、朝日新聞 1ヵ月分 (昭和 62 年 1 月) を対象として「と」に関連して調査した各種の結果について示す。

表 A.25: 引用の「と」(1A)+助詞「の」を受ける名詞

意見、意向、印象、うわさ、思惑、考え、観測、観点、気運、気持ち、計算、懸念、見解、声、誤解、こと、姿勢、質問、視点、情報、声明、線、宣言、前提、戦略、立場、認識、狙い、配慮、発表、話し、判断、評価、不満、方針、報道、保証、見方、見通し、予測、etc.

表 A.26: 結果の「と」(1D) を受ける動詞

する、なる、映る、化す、みえる

表 A.27: 情況語+【情況化】の「と」(3A)

あっさりと、意外と、生き生きと、依然と、一段と、當々と、おめおめと、カチャッと、軽々と、毅然と、キチッと、きっちりと、きゅうきゅうと、ギョッと、くっきりと、くるりと、ぐるりと、げっそりと、公然と、刻一刻と、こつこつと、混然と、混とんと、寒々と、ジーンと、しかと、しきりと、しっかりと、しつとりと、しみじみと、じりじりと、じわじわと、スカッと、すくすくと、すっぱりと、すっぱりと、すらすらと、すらりと、ずらりと、すんなりと、早々と、続々と、そそくさと、高々と、だらだらと、段々と、着々と、ちゃんと、次々と、点々と、ドーンと、ドキッと、どっかりと、どっさりと、どっしりと、にっこりと、ニヤリと、ぬくぬくと、伸び伸びと、はっきりと、ハッと、ばらばらと、ひしひしと、ぴたりと、びっしりと、ひっそりと、ぴったりと、ピンと、ふくいくと、ふんわりと、細々と、ホッと、ぽつんと、ほのほのと、ほろりと、まじまじと、もうもうと、ゆっくりと、ゆったりと、楽々と、慄然と、(勇氣)りんりんと、レッキと

表 A.28: 慣用的表現 (3B)

パターン	出現例
<u>と</u> ない	何十回 <u>と</u> なく、幾度 <u>と</u> なく、また <u>と</u> ない、何 <u>と</u> はなしに
時 <u>と</u> + <u>と</u> +～ない	一週間 <u>と</u> たたない、一、二年 <u>と</u> 違わない
<u>と</u> というの前後に同じ語がきて、 その族全体を表すもの	窓という窓
読点の直後もしくは文頭	<u>と</u> というのは、 <u>と</u> いっても、 <u>と</u> いうのも、 <u>と</u> すれば、 <u>と</u> いって、 <u>と</u> いうことは、 <u>と</u> いうわけで、 <u>と</u> いうより、 <u>と</u> すると、か <u>と</u> いって、か <u>と</u> 思うと、だ <u>と</u> すると、だ <u>と</u> すれば、だ <u>と</u> したら

A.2 実験に使用した天声人語

表 A.29に本論第5章で実験に使用した新聞記事の一覧を示す。

表 A.29: 実験に用いたテキスト一覧

記事番号	文番号	文
1	1	自民党内では時々、思いもよらぬ論理が幅をきかすことがある。
1	2	金丸副総理は、総裁占拠の予備選挙が行われず、国会議員の投票で決める本選挙だけになった場合には「日程を繰り上げるべきだ」と主張し、こんなふうに演説した。
1	3	「10月8日の告示から30日まで選挙運動をすると、料理屋で飲み食いしたり金が舞ったりするうえ、いろんな不祥事が起きかねない。
1	4	選挙運動を短縮して1日も速く総裁を決めるのがいい」。
1	5	繰り上げ論には派閥の駆け引きの色彩が強いが、金丸氏のように考える人は自民党内には多いらしい。
1	6	総裁候補の安部総務会長も日程繰り上げを求めて「約450人の党所属国会議員が相手なので、毎日料理屋で会合などをやっていたら国民から批判が出る。
1	7	われわれ3人(ニューリーダー)の責任も問われかねない」という。
1	8	総選挙の運動とは「飲み食い」や「金が舞う」ことなのか。
1	9	投票視覚が国会議員に限られた選挙なのだから、皆が良識ある行動をすれば「いろんな不祥事」は起こらない。
1	10	少なくとも、金丸氏や安部氏のような実力者が「金を使う」ことをやめれば、すっきりできるはずだ。
1	11	選挙運動の期間は候補者間の政策討論など、有効に活用する手がある。
1	12	「どんな政治をしようとしているのか、とんとわからない」という声がよくきかれる。
1	13	もちろん、予備選挙がない場合に日程を繰り上げてはいけないというのではない。
1	14	まともな理由であれば繰り上げもそれなりに理解できるが、「不祥事防止論」を根拠にするのはいただけない。
1	15	自民党総裁選挙は現状では、最高の公職である首相の選出を意味する。
1	16	ところが党内行事のため、公職選挙法は適用されず「買収」「供応」は野放し状態だ。
1	17	中曽根首相は30日の記者会見で「自民党では、そんなきたないことはない。
1	19	心配は不要です」と断言した。
1	20	総理と副総理のどちらが本当のことをいっているのだろうか。

表 A.30: 実験に用いたテキスト一覧 (続き)

2	1	「渋柿の滅法生 (な) りし愚かさよーたかし」。
2	2	ある幼稚園の先生から、ちょっとかわいそうだったけどとことわりつきで、こんな実験の話を聞いた。
2	3	渋ガキをさがし求め、60 人ほどの園児に食べさせてみた。
2	4	ウェーッと吐き出した子がほとんどだったが、涙ぐみながらのみこんだ子もいた。
2	5	そこで先生はきいた。
2	6	「どんな味がした?」
2	7	子どもたちは答えない。
2	8	2、3 人が自信なげに「苦い」といった。
2	9	「いまの子は、渋いというのがどんな味か知らないのです。
2	10	サルカニ合戦のお話ができないわけよね、カニのあのくやしさがわかりませんもの」。
2	11	これが先生の結論だった。
2	12	渋みもまた、日本人の味覚から消えゆくのだろうか。
2	13	果物の酸味は確実に薄らいだ。
2	14	むかしなら、いまごろは小玉の青リンゴが出てきて、歯ぐきにしみる酸っぱさが、さわやかな秋を感じさせたものだ。
2	15	品種改良が進んだせいか、リンゴはみんな大きくて甘い。
2	16	ぼつぼつ出回るミカンもそうだ。
2	17	カキの渋いのはいただけない。
2	18	けれども、渋みがすべてまずさかという、そうでもない。
2	19	日本茶のうまさは、渋み抜きには語れない。
2	20	ひと口ふくんだときに渋さが広がり、じわじわと微妙な甘さに変わってゆく。
2	21	お茶好きにはこの一服がたまらない。
2	22	甘渋みということばもあるほどだ。
2	23	しかし最近のお茶は、どうも渋みが敬遠される。
2	24	マイルド化というのか、あっさりしていて、何杯もおかわりできるのが好まれるという。
2	25	ウーロン茶などが伸びるわけだ。
2	26	渋みは甘みのように、人間が生まれながらにして欲しがる生理的な味とはちがう。
2	27	苦みと同様、味わいつけないと、ただの不快な味でしかない。
2	28	いわば趣味の味である。
2	29	渋い顔という。
2	30	渋さは不機嫌や苦々しさを意味する。
2	31	一方で渋ごのみとか渋い男とかいう。
2	31	この場合は地味で風流な趣をいうようだ。
2	31	どちらにしろ、渋いが死語となる日は、そう遠くないのかもしれない。

表 A.31: 実験に用いたテキスト一覧 (続き)

記事番号	文番号	文
3	1	朝の連続テレビ小説、大阪発の「はっさい先生」。
3	2	NHKの朝の連続テレビ小説は5日から「はっさい先生」がスタートする。
3	3	大阪に赴任した東京育ちの若い女教師が言葉や文かの違いに直面し、戸惑いながらも明るく生き抜いていく半生記である。
3	4	製作する大阪放送局は「主人公が会う様々なカルチャーショックを通して上方文化の再評価を試みたい」という。
3	5	ドラマは昭和6年からはじまる設定だから、東京と大阪の文化がそれぞれに独自性を誇っていたころだ。
3	6	関西にも共通語がどんどん浸透し、町並みや習慣も画一化が進んでいる。
3	7	「はっさい」は漢字で「発才」と書く。
3	8	大阪弁で「おてんば」という意味だが、地元でもわかる日とは年配の層に限られるのではないか。
3	9	在阪テレビ局のプロデューサーによると、大阪発のドラマが年々制作しにくくなっている。
3	10	出演者は名前があがるとみな東京に行ってしまう。
3	11	大阪弁、あるいは関西弁をしゃべれるスターが少なくなり、方言指導のトレーニングからはじめねばならないからだ。
3	12	「上方の文化の灯を消すな」という点では文楽も同じだ。
3	13	大阪の町人言葉を基調に市井の切りや人情を映すこの伝統芸能は、若い後継者の不足に悩んでいる。
3	14	微妙な大阪弁の抑揚とリズムが要求される義太夫節の苦労は、共通語が圏域を広げる中で並大抵でない。
3	15	通信技術の世界では「音声タイプライター」の研究が進められている。
3	16	人間が機械に共通語で語りかけ、しゃべった言葉がそのまま文字になるワープロである。
3	17	難しい点はまだいくつかあるが、実現すれば確かに便利だ。
3	19	しかし、便利さゆえに共通語化に一層の拍車がかかった時、方言の存在はどうなるのだろう。
3	20	作家の田辺聖子さんが書いている。
3	21	「日本語の乱れというのは、方言が標準語(共通語)に吸収され、方言独自の生々発展の力を失い、ひいてはその地域に住む人々の心まで萎縮させてしまう、そのことを指すのではないだろうか」と。

表 A.32: 実験に用いたテキスト一覧 (続き)

記事番号	文番号	文
4	1	他人の目。
4	2	他人の目に自分がどう映るかを気にするのは世の常だ。
4	3	人間ひとたび権力を握ると、ますますそのような思いがつのるものらしい。
4	4	身長が低かったナポレオンは、しばしば立派な白馬にまたがって公の場に現れた。
4	5	馬上ゆたかなナポレオンの雄姿は、数々の名画となって残っているから、彼の作戦は成功したといえよう。
4	6	ニューリーダーと呼ばれる自民党の総裁候補たちも、新人類風の洋服を着てみたり、魚市場でおばさんと談笑したり、それぞれパフォーマンス競争に忙しいようだ。
4	7	だが、自己粉飾がだんだんエスカレートして歴史上の事実までゆがめるようになると、ことは深刻になる。
4	8	ソ連のスターリンはやはり小柄な灯とで、見ばえをよくするために、ヒゲの手入れを怠らなかったといわれる。
4	9	それだけでなく、自分の都合に合わせて歴史の書き換えもはかった。
4	10	そのためにソ連が支払った代償は大きかった。
4	11	事実がまげられることによって国民は傷つき、西側の対ソ不信感も増幅したからだ。
4	12	だが、歴史の振り子はいつかはあるべき姿に戻っていく。
4	13	ソ連でも最近になって、ようやく自国の現代史の見直しが始まった。
4	14	これまで反党分子として極悪人に仕立てられ、あるいは無視されてきた革命当時の指導者トロツキー、ブハーリン、ジノビエフらがそれなりの客観的評価を回復して着た。
4	15	これらの人びとは一時は革命の父レーニンの協力者として、弁舌や理論の才をうたわれたことがある。
4	16	そうした評価も一部分はとり入れて、複数のソ連共産党史教科書が刊行される予定だという。
4	17	緊張緩和にとって大事なのは、相互の信頼感を醸成することだろう。
4	19	事実を正しく観察しようとする誠実な姿勢が信頼をはぐくむ。
4	20	人間でも、国家でも、陰ひなたがありすぎでは、信用されない。
4	21	クレムリンの指導者が遅まきながらそれに気付き始めたとすれば、悪いことではない。

表 A.33: 実験に用いたテキスト一覧(続き)

記事番号	文番号	文
5	1	乱獲されるツキノワグマ。
5	2	ツキノワグマは驚いたり、興奮したりすると鼻を鳴らすような音をたてる。
5	3	これが「クマッ、クマッ」と聞こえることからクマの名がついた。
5	4	韓国で「コム」と呼ぶのも共通の語源だという説がある。
5	5	このツキノワグマが乱獲されている。
5	6	韓国では全国に 57 頭しか確認できなくなった 5 年前に、天然記念物に指定した。
5	7	わが四国でも、戦前の九州に続いて、いま絶滅の危機にある。
5	8	残っているのは剣山系に 10 頭たらずと推測され、昨年暮れに高知県、この 4 月からは徳島県が狩猟の完全禁止に踏み切った。
5	9	人間の狙いは、今も昔も漢方の霊薬「クマの胆(い)」だ。
5	10	韓国で天然記念物のクマを密漁して得た胆のうが、180 グラムで 1000 万円余という途方もない値段で売られた話があった。
5	11	品不足に悩んだ韓国の業者が目をつけたのが、日本のツキノワグマ。
5	12	記録によると、55 年から 5 年間に 268 頭の生きたクマが韓国に渡った。
5	13	昨今のグルメブームで人気のクマの掌(てのひら)料理は、本場中国よりも日本のほうが手軽に食べられる。
5	14	1 皿 10 万円から 20 万円の値段を気にしなければのことだ。
5	15	掌はほとんどが中国からの輸入品。
5	16	国内のクマははく製にまわる。
5	17	このような資料を集めている野生動植物国際取引町さ記録特別委員会によると、ツキノワグマの輸出入には数字に表れないやりとりがあって、絶滅のおそれのある生物の商取引を帰省したワシントン条約に違反する疑いがつきまとう。
5	19	これからの季節、キノコ採りの人を襲い、農林産物を荒らすクマは、害獣として 1 年中射殺することが許されている。
5	20	狩猟と合わせ、殺される頭数は年平均二千二百余頭におよぶ。
5	21	秋田県では昨年 400 頭を撃ちとった。
5	22	生態を知るため、専門家がぜんぶの胃袋を解剖して調べたら、ポリープのある胃が 1 つ見つかった。
5	23	この初めての発見は、追いつめられるクマ族のストレスを示すものかもしれない。

表 A.34: 実験に用いたテキスト一覧(続き)

記事番号	文番号	文
6	1	ベトナム難民の青年との出会い。
6	2	千葉県東金市の看護婦・行方百合子さん(49)と、ベトナム難民の青年ファン・トルン・トゥエン君(29)の初めての出会いは、去年6月。
6	3	地元のボランティア協会が、東京にいる難民50人を招いて交流する会を開いた。
6	4	その夜のホームステイ先の1軒として、受け入れを頼まれたのである。
6	5	公務員の夫と大学生の一人息子の家庭に、「1晩ぐらいなら」と軽い気持ちで迎えた客であった。
6	6	「難民なんていわれるのは嫌でしょう?」
6	7	「お母さんと別れて船に乗ったとき、さぞ泣けたのでしょうか?」。
6	8	いま思えば、なんとつまらない質問ばかりしたことか。
6	9	「僕は難民ですが、人間です。」
6	10	どう呼ばれようと、気になりません」
6	11	「泣きませんでした。」
6	12	70%の確率で死ぬ船出でしたから、母の思い出に残す息子の最後の顔は、明るいものにしてやるべきだと思って我慢したのです」。
6	13	トゥエン君の答えの一つ一つが、行方さん一家の胸に響いた。
6	14	サイゴンの高校で数学の教師をしていた彼は、3年前、日本にたどり着いて、いまは東京の向上でプログラマーの仕事をしている。
6	15	つらい運命にありながら、毅然(きぜん)として未来を切り開いて生きようとしている。
6	16	以来、トゥエン君は行方さんを「お母さん」と呼び、行方さんも、新しい息子のつもりで行き来が続いている。
6	17	行方さんは、大好きだったパチンコをやめた。
6	19	魅惑的だったギンギラのネオンは「資源のむだづかい」としか見えなくなり、興奮をかきたててくれた軍艦マーチは、聞きたくもない歌になった。
6	20	「トゥエンに会わなかったら、私は、ごくつまらない主婦で終わったでしょう。」
6	21	この年になってですが、広く深くものごとをとらえる目を、彼に開いてもらいました」。
6	22	人間の値打ちに、その人の属する国の貧富は関係がないのだ。
6	23	いま日本人は国際化を迫られている。
6	24	が、そのほんとうの意味は何なのか。
6	25	行方さんの話には、一つの答えが含まれているような気がする。

表 A.35: 実験に用いたテキスト一覧 (続き)

記事番号	文番号	文
7	1	元同志社大学総長、住谷悦司さんの死。
7	2	大学には、かつてその学校の「顔」とでもいうべき人がいた。
7	3	戦後の京都でいえば、立命館総長の末川博さん、同志社総長の住谷悦司さんだろう。
7	4	民法と経済学史。
7	5	専門とする分野は異なったが、ともにすぐれた学者であり、教育者であった。
7	6	平和と民主主義を衛運動を支える支柱だった。
7	7	末川さんの死 (昭和 52 年 2 月) をことのほか惜しみ、悲しんだ住谷さんが亡くなった。
7	8	東大時代、吉野作造の指導を受け、大正デモクラシーの良さをたっぷり吸い込んだ学究でもあった。
7	9	「鬼も歯が立たない美しいキャラクターの持ち主」と、もう 60 年以上も交際を続けてきた同志社大学の元学長で、憲法学者の田畑忍さん (85) はいう。
7	10	その人柄ゆえに総長時代、「優柔不断」との批判を受けたこともある。
7	11	ただ、このおだやかなジェントルマンは、「にせもん」を嫌い、自由を抑圧するものに対しては容赦がなかった。
7	12	「ほんもののにせもの」と題して朝日新聞に寄せた一文 (昭和 43 年 6 月 30 日付) では「軍部と結んだ国家権力の不当な弾圧に出会ったとき、沈黙したり、もろくも腰くだけしてしまった」キリスト教徒を厳しく批判した。
7	13	同じころ、「建国記念の日」の創設に反対を表明していた住谷さんのところに「猛省を促し、抗議する」手紙が来た。
7	14	これに対しても「いつか来た道」と題し、新聞紙上で反論している。
7	15	なまやかな温顔ではない。
7	16	戦前、治安維持法で検挙されたとき、100 日間もの取り調べや拷問にも耐えたという。
7	17	同志社大学内にひとつの碑が立っている。
7	19	「良心之全身に充滿シタル丈夫ノ起り来ラン事ヲ」。
7	20	創設者、新島じょう (にいじま・じょう) の言葉である。
7	21	同郷、群馬県出身の師の言葉通りの障害を送った住谷さん。
7	22	最後の社会的な活動は、京都在住の学者とともに「スパイ防止法」案の反対意見書を自民党に送ったことだった。
7	23	2 年前、89 歳の時である。